

8月5日(土)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



左利きのマエストロが吹き込む 爽快な熱風!

8/2 東京フィルハーモニー交響楽団

©T.Tairadate

「暑い」と「熱い」の境目が
気温33度くらいにあると
思う。今年は毎日が「熱い」。太陽は全力モードで輝いている。そんな猛暑に負けないくらい熱いプログラムを披露してくれたのが出口大地指揮の東京フィルだ。ハチャトウリアン「仮面舞踏会」のワルツで始まり、チャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番が続き、おしまいはベルリオーズの幻想交響曲。燃えるようなパッションにあふれた名曲が並んだ。

指揮の出口大地は 2021年ハチャトウリアン国際コンクールで第1位に輝いた新鋭。昨年、東京フィル定期演奏会で抜擢され、

オール・ハチャトウリアン・プログラム
の堂々たる指揮ぶりで評判を呼んだ。演奏会冒頭の華麗な「仮面舞踏会」のワルツは名刺代わりの一曲。チャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番ではベテラン清水和音が貫禄のソロを披露し、作品に込められた雄大なドラマを紡ぎ出した。

本領発揮はベルリオーズの「幻想交響曲」。作曲者の失恋体験に基づくホラー映画ばりのグロテスクなストーリーを持った作品だが、物語性をことさらに強調せず、ていねいに作品本来の姿を再現することで、かえってこの作品の異形の交響曲ぶりが浮き彫りになっていた。ベルリオー

ズに交響曲への扉を開いたのは、パリで開かれたベートーヴェンの交響曲演奏会。この曲はベルリオーズなりにベートーヴェンの衣鉢を継いでいるのかも、と改めて感じさせてくれる。

端正な造形に強力な金管楽器セクションの咆哮が加わって熱量も十分。左利きのマエストロが吹き込んでくれた熱風は、不思議なほど爽快だった。

(飯尾洋一/音楽ジャーナリスト)



©T.Tairadate



左：出口大地(指揮) 右：清水和音(ピアノ)

ご来場者の声

出口大地さんの指揮とってもよかったです。ファンになりました!! (60代・会社員 IT・Megu) / プレトークで出口さんが熱く語っていたベルリオーズ幻想交響曲第3楽章のイングリッシュホルンと舞台裏のオーボエの掛け合い。2階右奥の扉が開いたので、その奥でオーボエが? そういうのを考えつつ楽しみました! チャイコフスキーピアノ協奏曲第1番のピアノ清水和音さん、コンマスの依田さん、そして指揮の出口さん、東京フィルの皆さん、最高でした!(50代・グループ) / アンコールがあったり色々な楽器があったり面白かった。ピアノ協奏曲の冒頭が良かった。(10代未満・小学生・かほ) / 開演前のプレトークは、指揮者さんの楽曲解説がとても分かりやすく、より演奏を楽しむことができました。(30代・会社員・会社員) / 出口さんの指揮を見てみたく今回聴きにきました。プレトークも大変興味深く、演奏を聴く時の参考になりました。出口さんの指揮も大変素晴らしく、楽しいコンサートでした。これからのますますの活躍を楽しみにしています!(40代・会社員・ぐっさん)

Next! サマーミュージック
明日のチケット情報

新日本フィルハーモニー交響楽団

～広上淳一のザ・ベートーヴェン!～

8/6(日) 16:00 開演 (14:30 開場)

会場：ミュージア川崎シンフォニーホール

完売
御礼

♪ プレコンサート (15:00～15:30)
新日本フィルハーモニー交響楽団
メンバーによる室内楽コンサート
※本公演と同じお席でお楽しみください。

- プレトーク：広上淳一 (聞き手：池田卓夫)
- ベートーヴェン：交響曲第6番 へ長調「田園」
- ベートーヴェン：交響曲第5番 ハ短調「運命」



©Greg Sailor

ミュージア公式 YouTube チャンネル
登録よろしくお願いたします。



※当初発表の井上道義氏(指揮)から変更になりました。 指揮：広上淳一(※)



“音色の魔術師”、ミュージカにあらわる!

現代のパイプオルガンは、複雑な機構により実に多くの音色を生み出すことができます。しかし、それだけの音色をどう扱うかは、演奏家のセンスが問われるもの。その点において、他の追随を許さないほどの卓越したセンスを持ち、“音色の魔術師”という異名まで持つのがイヴ・レヒシュタイナーです。

今回取り上げるベルリオーズ「幻想交響曲」では、そのレヒシュタイナーのまさに真骨頂ともいえる世界観が味わえます。「幻想交響曲」は、いくつもの美しいメロディーと複雑なハーモニーで構成された、オーケストラ曲の中でも

特に色彩感が要求される音楽です。レヒシュタイナー自身の編曲により、名曲「幻想交響曲」がどう生まれ変わるのか?乞うご期待です。

レヒシュタイナーのもう一つの魅力が、多彩でユニークなレパートリーの数々です。古楽の教授でもあることから、バッハ等バロック音楽への造詣の深さはもちろんのこと、あくなき好奇心から映画音楽やプログレッシブ・ロックまでアンテナを伸ばし、レパートリーに加えているのです。

古楽への探求とまだ見ぬ世界への

挑戦の繰り返しにより、未だ進化の過程にあるレヒシュタイナーがミュージカでどんな魔術を見せてくれるのか、どうぞお楽しみに!

(事業企画課・SG)



パイプオルガン: イヴ・レヒシュタイナー



©堀田力丸



イヴ・レヒシュタイナーさんのインタビュー記事だトン!



◆イヴ・レヒシュタイナー パイプオルガン・リサイタル

9月18日(月・祝) 14:00 開演

- ♪J.S. バッハ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番 ト短調より アダージョ*
フーガ 二短調
無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番 ト短調より シチリアーナ*
無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番 二短調より シャコンヌ*
- ♪メンデルスゾーン: オルガン・ソナタ第3番 Ⅰ長調
- ♪アラン: 間奏曲「紡ぎ女」
連弾
- ♪オールドフィールド: チューブラー・ベルズ(パート1)*
- ♪フランク: オルガンのための3つの小品より III 英雄的小品 口短調
- ♪ベルリオーズ: 幻想交響曲より I. 夢と情熱、II. 舞踏会*

【料金】
全席指定 ¥4,000
U25¥1,500

*オルガン編曲/イヴ・レヒシュタイナー

たくさんあるよ! パイプオルガンコンサート

12/23(土)
MUZAパイプオルガン
クリスマス・コンサート2023

ほぼ日7/29発行号で
ご紹介しています



2024
2/17(土)
ホールアドバイザー松居直美企画
J.S. バッハ: 音楽の捧げもの

ほぼ日7/25発行号で
ご紹介しています



このほか、10月、2024年1月、3月のランチタイムコンサートでもオルガンが登場します。



小海老と枝豆の
レモンクリームソース スパゲッティ
1,080円(税込)

気取らないイタリアンって最高♪

音楽会へのお出かけにつきものといえば「洋食」。今回は気取らず楽しめるイタリアン「ナポリの下町食堂」へお邪魔してきました。薄い色の服を着てきてしまっ「トマトソース...どうしよう」と思った私を、月替わりのランチメニューにあった「小海老と枝豆のレモンクリームソース スパゲッティ」(写真)が救ってくれました。プリプリの海

老に枝豆の組み合わせは爽やかな夏の味。濃すぎないレモンソースの風味が優しく胃にしみわたります。

ランチタイムは全品にサラダ&フォカッチャ付き、パスタもボリューム多くてお腹いっぱい。2人や3人でシェアするタイプのランチセットもあって、ワインもビールも飲みちゃおうので、お友達とのランチやコンサート

前後のご歓談にも良さそう。よく見れば外のショーケースにはケーキまであるじゃないですか...!

次は時間のある時に、ソースがはねても大丈夫な服装で、窯焼きピザを食べちゃおうかな...!

(広報U)

ナポリの下町食堂

パートナーショップ特典 カワサキデルタ
飲食代10%引き ※優待券持参者および同伴者

日刊サマーミュージック
は Webでも公開中!



フェスタサマーミュージック公式サイト
https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/

#サマーミュージック
#お待ちどうサマー♪
で検索 & 投稿
お待ちしております!



Twitter: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki



「カメラマンF」
後には美味しいお菓子を。ぜひ足を運んでみてください。

日刊サマーミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza

こんにちは。カメラマンのFです。サマーミュージックでは主に新百合ヶ丘公演の撮影を担当しています。ちなみに僕の住まいは、会場のテアトロ・ジューリオ・シウワから車で5分。開場してから「今から来てー」と呼ばれても間に合ってしまうという、実にありがたいロケーションであります。

スタッフ日誌